

発表項目 (行事名)	第15回 北海道e-水(イーミズ)フォーラムの開催について		 北海道e-水プロジェクト
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
概要	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道の豊かな水資源と美しい自然を一体として守り、未来へ引き継いでいくことの大切さを考える「北海道e-水フォーラム」を開催します。 ○ 道内の水環境保全活動に取り組む団体による発表や有識者による基調講演等を実施します。 </div> <p>1 日時 令和6年(2024年)11月22日(金)18:00～20:30</p> <p>2 会場 札幌国際ビル 8階国際ホール(札幌市中央区北4条西4丁目1番地)</p> <p>3 主催 北海道、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(公財)北海道環境財団</p> <p>4 主な内容</p> <p>(1)主催者挨拶 北海道副知事、北海道コカ・コーラボトリング(株) 代表取締役社長、(公財)北海道環境財団理事長</p> <p>(2)寄付金贈呈式 北海道コカ・コーラボトリング(株)から(公財)北海道環境財団へのご寄付</p> <p>(3)活動団体発表 活動団体の活動成果発表</p> <p>(4)基調講演 『小さな自然再生がひらく未来』 講師:中川 大介氏<small>なかがわ だいすけ</small>(ライター・編集工房かぜまち舎)</p> <p>5 お申込み方法 参加費無料 定員150名 要事前申込・先着順</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <p>お申込フォーム https://www.heco-spc.or.jp/emizu/emizu_forum/form/index.php 電話:011-218-7811 FAX:011-218-7812 ※FAXの場合は、お名前(ふりがな)、電話番号、ご所属(あれば)を明記の上、お申し込みください。</p> </div>		
参考	<p>○北海道e-水プロジェクトとは</p> <p>平成21年(2009年)11月に道と北海道コカ・コーラボトリング(株)が締結した「環境保全に関するパートナーシップ協定」に基づき、同社が販売している「い・ろ・は・す天然水」540ml・950mlPETの売上の一部の寄付を受け、道内の水環境を守る活動に取り組んでいる団体に助成等を行うもので、平成22年(2010年)から同社及び(公財)北海道環境財団と協働で実施しています。</p> <p>ホームページ URL https://www.heco-spc.or.jp/emizu/index.html</p> 		
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	経済記者クラブ ※北海道コカ・コーラボトリング(株)が配布	
担当 (連絡先)	<p>(プロジェクト全般については)</p> <p>環境生活部 環境保全局 循環型社会推進課 (課長補佐(水環境対策) 菱沼)</p> <p>電話 [ダイヤルイン] 011-204-5193 (内線24-255)</p> <p>[公用スマートフォン]011-585-6102(内線23677)</p> <p>(フォーラムについては)</p> <p>(公財)北海道環境財団(企画事業部長 内山)電話:011-218-7811</p>		

北海道e-水プロジェクトは、節目の15年目を迎えました。

今年は、次世代コースが新設されたほか、北海道を応援するキャラクター「雪ミク」の「北海道e-水プロジェクト」公式アンバサダーへの就任、寄付対象商品に新たに「い・ろ・は・す天然水950ml」が追加されるなど、話題盛りだくさんの年になりました。

そのようななか、助成を受けた団体が道内各地で今年も元気に活動を展開しています。

北海道e-水フォーラムはそれら活動団体が取り組んだ成果を一般の皆さまにお知らせする場として実施します。

また、基調講演には、昨年末に著書『水辺の小さな自然再生一人と自然の環(わ)を取り戻す』を出版された中川大介さんにご講演いただきます。e-水の活動団体の話題も登場します。

ぜひ会場まで足をお運びください。

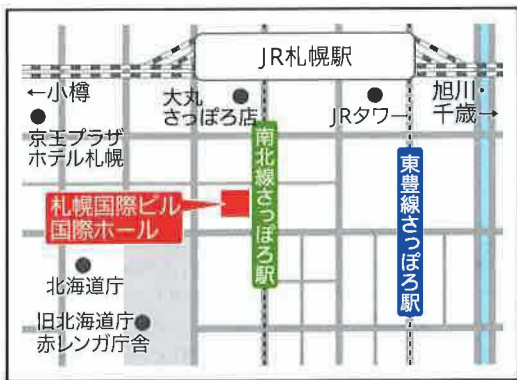


釧路川水系での小さな自然再生の様子(釧路自然保護協会(2022年))

第15回 北海道e-水フォーラム

2024年11月22日(金) 18:00~20:30 [開場17:30]

会場 札幌国際ビル8階 国際ホール
札幌市中央区北4条西4丁目1番地



2024年活動団体発表 e-水コース5団体(カッコ内は主な活動地域)

- ① 大沼エデュケーションパークプロジェクト(七飯町)
- ② 大沼ラムサール協議会(七飯町)
- ③ 釧路自然保護協会(釧路市)
- ④ クッチャ口湖等保全対策協議会(浜頓別町)
- ⑤ CISEネットワーク(道央地域)

※しずく・次世代コース13団体(裏面のMAPに団体名を記載しています)には時間の都合上、事前に発表いただき録画した映像を、後日、北海道e-水プロジェクトのホームページで公開いたします。

基調講演 ※詳細は裏面をご覧ください。

『小さな自然再生がひらく未来』

講師：中川 大介 氏 (なかがわ だいすけ)
ライター・編集工房かぜまち舎



参加費 無料(定員150名)

要事前申込み・先着順

※お申込み方法は裏面をご覧ください。

参加者プレゼント

ご参加の皆さまに、北海道の天然水「い・ろ・は・す 天然水」540mlペットボトルを1本ずつプレゼントします。

※「い・ろ・は・す 天然水」540ml・950mlペットボトルの売上の一部は、『北海道e-水プロジェクト』の活動資金として活用されています。



北海道e-水プロジェクト

主催：北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団
お問合せ：北海道e-水プロジェクト事務局(公益財団法人北海道環境財団)
TEL:011-218-7811 E-mail:emizu@heco-spc.or.jp

※北海道e-水プロジェクトは、北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団の協働事業として、北海道の水環境保全活動に取り組んでいます。

裏面もご覧ください



基調講演



講師

中川 大介氏(なかがわ だいすけ)
ライター・編集工房かぜまち舎

『小さな自然再生がひらく未来』

地域住民が発案・協働し、身近な生物の生息環境を回復する「水辺の小さな自然再生」が全国に広がっています。小さな川や湿地といった「身近な水辺」の自然を「手づくりの技術」で再生し、その作業を通じて人と人とのかわりをも再生する試みです。道内の浜中町や美幌町、釧路地方での「手づくり魚道」の事例を通じて、自然の「環」と人の「環」を取り戻すことや、身近な風景を修復していくことの意味について考えます。

■プロフィール

1963年岩手県釜石市生まれ。1986年北海道大学文学部卒業。1992年北海道新聞社入社。記者として本社社会部・報道本部、千歳支局、函館支社報道部、厚岸支局、東北臨時支局などで勤務。1次産業や環境保全、自然災害などを取材するかたわら、趣味の溪流釣りやカヌーを通じて河川環境の現状に危機感を抱き、「人と水のかかわり」に関心をもって研究者や技術者、ジャーナリストらとともに「北海道淡水魚保護ネットワーク」「人と水研究会」といったグループで活動。2022年退社。現在はライター・編集者として函館市で「編集工房かぜまち舎」を主宰。著書に『サケ学大全』（共編著、北海道大学出版会、2013年）、『環(わ)の中に生きる』（編集工房かぜまち舎、2023年）、『水辺の小さな自然再生 人と自然の環(わ)を取り戻す』（農文協、2023年）。NPO法人えんの森(北海道浜中町)、NPO法人はこだて街なかプロジェクト(函館市)に加わる。

お申込み・お問合せ

北海道e-水プロジェクト事務局(公益財団法人北海道環境財団)までお申込みフォーム・お電話(011-218-7811)・FAX(011-218-7812)のいずれかでお申込みください。

- ・可能な限り「お申込みフォーム」をご利用ください。
- ・FAXでお申込みの方は、お名前(ふりがな)、電話番号、ご所属(あれば)をご記入の上、送信してください。
- ・いただいた個人情報は、本フォーラムの連絡以外には使用いたしません。



お申込みフォーム